

どこにも行かぬ、ここに居る　く如在の教えく

加茂法話会　平成二十九年十月十八日

一、死にはせぬどこへも行かぬここに居る　たづねはするなものは云わぬぞ

一休禅師　臨終の道歌

二、九月に四十五歳で一男一女を残して、四十五歳で亡くなったお母さんの葬儀で

■高校二年の通夜での挨拶

お母さんは誰よりも頑張り屋でまわりの人にも気をくばるすごい人です。

いつも僕たちのことを一番に考えてくれていて悩み事とかも全部聞いてくれました。

料理には特に力を入れていて毎日おいしい料理をだしてくれました。

二十二日の大会では一年ぶりに自己ベストを更新することができ、お母さんに「ベスト出せたよ」と伝えたかったけど、大会が終わってからお母さんが亡くなったことを聞いてとても悲しかったです。でも多分お母さんは大会を見に来て力を分けてくれたからとても良いレースが出来たんだと思います。

これからはお母さんがいなくなって大変になると思うけど、お母さんが天国で安心できるように精一杯生きていこうと思います。

これからもどこかで応援してね。

今までありがとう。

■中学二年の葬儀当日、お棺の中への手紙

マミーへ

いままで　ありがとう

もう会えないし、話せないけど、私は頑張って生きてます。

テスト全部九十点こえたよ。

私のことは気にせず、天国へ行ってください。それでは。

□父曰く　「この手紙を書いた通夜の夜、娘は泣いていた。」

じょうようでん

三、承陽殿（大本山永平寺）

道元禅師から五代尊までの御尊像、七十八世までの位牌を安置

永平寺開山　道元禅師　一一〇〇～一二五三　五十四歳

えじょう

永平寺二祖　懐奘禅師　一一九八～一二八〇　八十三歳

永平寺侍真寮規

「侍真寮員ハ親シク高祖大師ノ巾瓶ニ侍シ得タル難値難遇ノ縁ニ歎喜シ盡未来際当處永平不離ノ御誓願ヲ奉戴シ昔日高祖ニ奉持セラレタル二祖國師ノ御信念を追慕シテ日夜丹念ニ奉持スベシ」

ふしん

不審・おはようございます

ちんちよう

珍重・おやすみなさい

にょぎい

「如在」　在ますが如く、在すが如く

ましま

どこにも行かぬ、ここに居る　く如在の教えく

加茂法話会　平成二十九年十月十八日

一、死にはせぬどこへも行かぬここに居る　たづねはするなものは云わぬぞ

一休禅師　臨終の道歌

二、九月に四十五歳で一男一女を残して、四十五歳で亡くなったお母さんの葬儀で

■高校二年の通夜での挨拶

お母さんは誰よりも頑張り屋でまわりの人にも気をくばるすごい人です。

いつも僕たちのことを一番に考えてくれていて悩み事とかも全部聞いてくれました。

料理には特に力を入れていて毎日おいしい料理をだしてくれました。

二十二日の大会では一年ぶりに自己ベストを更新することができ、お母さんに「ベスト出せたよ」と伝えたかったけど、大会が終わってからお母さんが亡くなったことを聞いてとても悲しかったです。でも多分お母さんは大会を見に来て力を分けてくれたからとても良いレースが出来たんだと思います。

これからはお母さんがいなくなって大変になると思うけど、お母さんが天国で安心できるように一杯生きていこうと思います。

これからもどこかで応援してね。

今までありがとう。

■中学二年の葬儀当日、お棺の中への手紙

ママへ

いままで　ありがとう

もう会えないし、話せないけど、私は頑張って生きてます。

テスト全部九十点こえたよ。

私のことは気にせず、天国へ行ってください。それでは。

□父曰く　「この手紙を書いた通夜の夜、娘は泣いていた。」

じょうようでん

三、承陽殿（大本山永平寺）

道元禅師から五代尊までの御尊像、七十八世までの位牌を安置

永平寺開山　道元禅師　一一〇〇～一二五三　五十四歳

永平寺二祖　懷奘禅師　一一九八～一二八〇　八十三歳

えじょう

永平寺侍真寮規

「侍真寮員ハ親シク高祖大師ノ巾瓶ニ侍シ得タル難値難遇ノ縁ニ歎喜シ盡未来際当處永平不離ノ御誓願ヲ奉戴シ昔日高祖ニ奉持セラレタル二祖國師ノ御信念を追慕シテ日夜丹念ニ奉持スベシ」

ふしん

不審・おはようございます

ちんちよう

珍重・おやすみなさい

にょぎい

「如在」　在ますが如く、在すが如く

い

ましま